

学校だより



春里



平成28年度 9月1日号

学校教育目標

「生きる力」の育成

【目指す生徒像】

- ・笑顔で元気にあいさつする生徒
- ・礼儀正しく、仲良く助け合う温かい心の生徒
- ・進んで学習し、運動を好む生徒
- ・自ら考え、夢を持って行動する生徒

さいたま市立春里中学校

「夏休みの体験を生かして」

校長 松井 秀史

夏休みが終わりました。生徒たちはどのような夏休みを過ごしたのでしょうか。一回りも二回りも大きく成長して二学期の活躍に向けてパワーを蓄えられたでしょうか。



《夏休みの体験を生かして》

子供たちはこの夏休みで「夏休みにしかできない体験」をたくさんできたでしょうか。部活動や習い事に思いきり取り組んだ。一学期の学習の総復習をした。家の手伝いを熱心に行った。家族旅行へ行った。普段会えない親戚や知人に会った・・・。感受性豊かなこの年代の夏休みは学校を離れて学校ではできないたくさんの経験をし、



人としての大きな成長を期待できる時です。それらを生かして2学期それぞれの場面での活躍を期待したいものです。

《オリンピックの感動》

私にとってはオリンピックに熱中した夏でした。卓球の「あいちゃん」が後輩たちの前に立ち、辛さも見せずにカメラの前でインタビューに答えていましたが、メダルを獲ったときのテレビには「あいちゃん」の抑えきれない涙がきらきら輝いていました。厳しい練習の中、努力を重ね、試合に臨み、やり終えた後の充実感は春里中学校生徒たちの学校総合大会で引退した3年生の試合後の涙を思い出しました。努力することの大切さ、素晴らしさを今更ながら感じさせてもらえました。



「あいちゃん」の他にも、団体金メダルにこだわった体操競技や、全階級でメダルを獲得した柔道の井上監督のむせび泣きなど虚偽憎悪が渦巻く現代社会の中で

さわやかな真実を感じ取れるオリンピックでした。この後のパラリンピックや4年後の東京五輪もきっといろいろな感動があることと期待しています。

《二学期の開始》

さあ二学期のスタートです。二学期は「文化祭」「新人戦」「合唱コンクール」等大きな行事が続



きます。中学校の思い出を自分たちの手で作り上げてほしいと考えています。練習等にしっかりと取り組み、さいたま市立春里中学校のパワーを発揮していきますので、ご期待ください。

3年生は、部活動も引退し、来年の4月の進路に向かって全力で取り組む時です。辛く厳しい自分との戦いですが、焦らず一步一步努力を重ねていってくれることを願っています。2年生は学校の中心として今まで先輩たちが培ってきた伝統を受け継ぎこのさいたま市立春里中学校をより一層発展させてくれることを期待しています。1年生は中学生として本格的に力を発揮する時です。自分がやりたいことを見つけ、努力し、力を伸ばす時期です。失敗を恐れず、思いきりやってみてくれることを期待しています。

《ちょっと一言・・・》

学校は学力を身に付けさせる場でなくてははいけません。でも、生きていくための力は学力だけでなく「思い出」も大事なものです。春里中学校の生徒一人ひとりが中学時代の「最高の思い出」を作ってくれるといいなあ・・・と願っています。

さあ、2学期も春里中の生徒たちの輝かしい未来へ向かって保護者、地域の皆様と教職員が一丸となっていけるよう頑張ります。ご協力をお願いいたします。

